

令和元年10月28日
総合政策局海外プロジェクト推進課

日本の中堅・中小建設企業がインドに技術をアピール ～ インド住宅都市省と都市開発に関する次官級会議を実施 ～

国土交通省は、10月17日、インド住宅都市省とともに「第11回都市開発に関する日印交流会議」を開催しました。会議では、水環境、都市開発、都市交通分野における意見交換のほか、日本の中堅中小建設企業が初めて参加し、インド側出席者に対して各社の技術をアピールしました。

本交流会議は、2007年5月に結ばれた「都市開発分野に関する協力に係る日本国国土交通省とインド国都市開発省（現：住宅都市省）との間の了解覚書」に基づき、日印双方において都市開発分野の協力、交流の拡大により更なる都市の経済的、社会的な成長、発展に大きく貢献することを目的に開催しています。

今回の会議では、水環境（都市洪水、下水処理）、都市開発（スマートシティ、アフォーダブル住宅）、都市交通（TOD）等について意見交換を行いました。また、同会議において、今回初めて日本の中堅・中小建設企業が参加し、各社の技術についてインド側の出席者にアピールしました。

1. 日時： 令和元年10月17日（木）12:30～19:15
2. 会場： TKP ガーデンシティ品川
3. 主催： 国土交通省、インド住宅都市省
4. 出席者： 約50名

[日本側]

- ・ 国土交通省（平井 秀輝 大臣官房海外プロジェクト審議官 ほか）
- ・ 日本下水道事業団、住宅金融支援機構、日建設計総合研究所、東京製綱インターナショナル、高知丸高、鉦研工業、大有建設、あおみ建設

[インド側]

- ・ 住宅都市省（ドゥルガ シャンカール ミシュラ次官 ほか）
- ・ グジャラート州、マハラシュトラ州、首都圏交通公社、在日インド大使館

等

5. 結果概要： 別紙1のとおり

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課 小島、田上

TEL 03-5253-8111(代表)(内線25806、25824)、03-5253-8315(夜間直通)、FAX 03-5253-1562

《結果概要》

1. 各セッション

(1) インド側プレゼンテーション

インド側から、住宅都市省、グジャラート州、マハラシュトラ州それぞれの現状と取組及び日本側に期待する事項について発表と質疑応答がありました。

(2) 水環境セッション

日本側から、日本の浸水対策、下水処理水の再利用及び汚泥処理の効率化と資源・エネルギー利用について発表と質疑応答がありました。

(3) 都市開発セッション

日本側から、スマートシティに関する日本の取組、日本の住宅供給の取組、日本の住宅金融施策について発表と質疑応答がありました。

(4) 都市交通セッション

日本側から、日本における TOD の発展と特徴、駅周辺開発における日本のノウハウ、に関する発表と質疑応答がありました。

(5) 日本企業とのラウンドテーブル

日本の中堅・中小建設企業5社が、各社がもつ技術(※)をインド側出席者にアピールし、インド側からは、全てインドで適用できる技術であり、日本企業のインド進出を期待するコメントがありました。

(※)①東京製綱インターナショナル: 落石防護工に関する技術・製品

②高知丸高: 緊急架設橋と浚渫機械

③鉦研工業: ボーリングによる地質調査技術

④大有建設: 排水性アスファルト舗装技術

⑤あおみ建設: 遠隔操作技術を使用したポンプ浚渫

2. 今後に向けて

○ インド側から、次回会議は 1 年以内にインドのデリー郊外において開催したいとの提案がありました。

○ インド側から、本会議のほか、スマートシティ、都市開発・再開発等の個別分野における協力枠組の一層の強化について提案があり、今後検討していくこととなりました。



会議出席者による集合写真



会議の様子